

2 事業提案書

④自主事業の取り組み

■自主事業の取り組み事例

● 多種多様な企画の展開

落ち着いた環境で過ごしたい、図書館の落ち着いた環境が好き、知的欲求を満たしたい、せっかくの休みをのんびり図書館で過ごしたいという利用者の方にも楽しんでいただけるような企画を豊富に実施します。利用者のニーズは常に変化するものと捉えており、弊社はそうした小さなニーズもくみ取ること、多くの方に来館いただける仕掛けづくりを行います。

また、烏山地域周辺は区民が土に親しめる区民農園や、気軽に収穫体験ができる農園、烏山寺町の樹木や湧水のほか、屋敷林・緑道などの緑が多く、癒し溢れる地域も有していると認識しています。そうした特徴や地域特性を踏まえ、烏山地域の魅力を再発見できるよう、**地域を散策するフィールドワーク**なども企画実施します。開催した自主事業に関連する資料も展示することで、貸出の機会増も狙います。

● note による情報発信

パスファインダー（様式3 1業務全般の運営計画 13 ページ）や図書館情報、地域情報は、貴区と協議の上、オンラインのメディアプラットフォーム“note”で公開します。既にパスファインダーは“世田谷区電子書籍サービス”にて公開されていますが、“note”で公開するメリットについて、以下のとおりとなります。

“note”の特徴

- ・文章や写真、イラスト、音楽、映像などのコンテンツを投稿できるプラットフォーム
- ・月間アクティブユーザー（MAU）が6300万人、登録者数260万人（2020年5月時）
TwitterのMAUが4500万、FacebookのMAUは2600万（共に国内、2021年2月時）
- ・noteの性格上クリエイティブに関心のある人が多い
- ・無料で利用可能
- ・フォロワー機能があり、ファンに向けて情報発信できる
- ・広告掲載不可のため公共性が高い
- ・有料記事の販売などユーザー間で課金システムあり

以上のように、記事の発信元に対するファン層に向けて情報を発信すると効果的で、情報を必要とする層にダイレクトに届けることが可能です。

烏山図書館のファンになってもらうためのブランディングとして、魅力ある情報を発信することで、「烏山図書館のnoteを見れば、烏山地域の面白い情報が見れる」こ

2 事業提案書

とを浸透させます。その結果、烏山図書館のファンを増やし、図書館利用に繋がります。

貴区と協議のうえ、可能であれば図書館ホームページや SNS（貴区烏山総合支所公式 Twitter 等）にて烏山図書館 note を紹介し、情報発信します。

烏山図書館 note 活用事例

- ・ パスファインダー公開で地域情報の紹介
+ 図書館の魅力発信
- ・ コロナ禍ではテイクアウト可能な
地元の飲食店を紹介
- ・ 遠出が難しい状況では、近隣で気軽に楽しめる
スポットを紹介

● 映像体験イベント“本の世界に入ってみよう”

合成撮影技術(クロマキー)を使用して、本などの世界に入り主人公になったかのような体験をしてもらい、本への興味を促します。また、図書館にある本を題材にした作品を使用することにより、子どもや保護者に本との出会いのきっかけ作りを行い、利用促進を図ります。参加者には、撮影した動画を DVD にしてプレゼントし、イベントに参加した後も図書館の思い出を家族で楽しめるような仕組みです。

● 情報リテラシー講座でタブレット型PCを体験

デジタルデバイス（情報技術格差）を解消するための事業として「情報リテラシー講座」を実施します。タブレット端末を用意し、使い方やインターネットへの接続方法を基礎からレクチャーします。合わせて貴区図書館HPの利用方法や資料検索のコツ、「世田谷区電子書籍サービス」や「世田谷デジタルミュージアム」の紹介や利用方法のレクチャーも行い、図書館利用推進を図ります。

2 事業提案書

● 地域情報を後世に残すためウィキペディアタウンを実施

図書館は、貴重な郷土資料や地域情報を所有しています。また、図書館利用者の中には、古くからのまちを知る方もいらっしゃいます。

ウィキペディアタウンでは、これらの情報をつなぎ合わせて、正確な情報を誰もが閲覧できる状態で公開する方法を紹介し、実践します。

イベントでは、街歩きとウィキペディアの編集を行います。街歩きでは、**地域の魅力を発見**でき、ウィキペディアの編集では **ICT スキルやネットリテラシーの向上、著作権について学ぶ**機会となります。また、図書館資料の活用方法を学ぶことができ、図書館本来の役割を果たすことに繋がります。

2 事業提案書

■ 烏山図書館 年間事業計画

実施 頻度	事業名	内容
4～5回 /月	おはなし会	ボランティアによる読み聞かせ、すばなし等
1回/月	赤ちゃんおはなし会	ボランティアによる読み聞かせ、すばなし等
1回/年	認知症サポーター養成講座	認知症への正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」の養成講座
1回/年	情報リテラシー講座	タブレット端末等を使用し、インターネットの使い方や図書館 HP・電子図書館の活用方法を学ぶ。
1回/年	ぬいぐるみおとまり会	お気に入りのぬいぐるみが図書館で楽しい体験をすることで、図書館や本に興味、関心をもってもらおう。
1回/年	本の世界に入ってみよう	クロマキー技術を用いて参加者に本の世界を体験してもらおう。
4回/年	地域連携事業	商店街や福祉施設等と連携し、図書館の持つ情報と地域資源を結ぶことで、地域交流を深め、図書館への来館促進を図る。
1回 /2年	ビブリオバトル	利用者参加型のおすすめ本のプレゼン対決。利用者に本の魅力をアピールしてもらおう。
1回 /5年	絵本の中のお菓子を作ろう	YA世代を対象に、絵本の中のお菓子を作り物語や料理の本などの図書館資料に親しみ、読書推進とともに来館促進を図る。
1回 /5年	ウィキペディアタウン	街歩きとウィキペディアの編集を行い、地域の魅力発見とICTスキルやネットリテラシーの向上、著作権について学ぶ
1回/年	本の福袋	分野ごとに図書館職員のおすすめ本をセットにし、タイトルがわからないように専用袋に入れて提供する。
1回/年	烏山図書館寄席	高齢者を中心に人気のある古典芸能落語を楽しんでもらうとともに関連資料の展示・貸出を行い、身近な図書館を実感してもらおう。
通年	烏山図書館公式 note	館や地域に関する情報を定期的に利用者に発信し、利用者とのコミュニケーションツール
3回/年	烏山図書館だより	としての活用を目指す。